

第7回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会
懇談会資料

平成25年2月28日

本 宮 市
国土交通省 福島河川国道事務所

懇談会資料 目次

1. まちづくり懇談会のこれまでの経緯

- 1-1. 平成19年度の懇談会(提言書とりまとめ)
- 1-2. 事業全体の進め方
- 1-3. 平成20年度以降の懇談会の趣旨・目的
- 1-4. これまでの経緯

2. これまでの事業進捗状況と今後の予定

- 2-1. 各ゾーンの進捗状況について
- 2-2. Aゾーンの進捗状況について
- 2-3. Cゾーンの進捗状況について

3. Bゾーンの実施方針

- 3-1. Bゾーンの提言書の整備手法
- 3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

4. 今後の進め方

- 4-1. Bゾーンの今後の予定(案)について

1. まちづくり懇談会のこれまでの経緯

- 1-1. 平成19年度の懇談会（提言書とりまとめ）
- 1-2. 事業全体の進め方
- 1-3. 平成20年度以降の懇談会の趣旨・目的
- 1-4. これまでの経緯

1-1. 平成19年度の懇談会（提言書とりまとめ）

【提言書】

とりまとめた「阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言」は、福島河川国道事務所のHP等で公開しています。

阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言

平成 20 年 3 月

阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会

◎Bゾーン

Bゾーンは①案を基本とするが、治水対策と一体となった親水空間の再生を考慮すると、地域住民の合意形成を前提とした②案が望ましい。

③-1 ③案+川沿いの電線集上げ



③-2 ③案+橋渡付近まで電線集上げ



図 2-12 Bゾーンの治水対策の方向性

事業実施にあたって検討・配慮すべき事項は以下のとおりである。
* 住宅密集地に対する避難経路の確保
* 川沿いの樹木の保護
* 堤防づくりの階段の確保
* 川とまちの防災設計による連続性の確保

◎Bゾーン



図 2-2 Bゾーンの整備イメージ

Bゾーン（旧代議～高柳駅）の主な整備メニュー（案）は以下のとおりである。

Table with 2 columns: まちづくりのコンセプト and 主な整備メニュー(案). Rows include safety, disaster response, and utility management.

※写真：治水対策と一体となったまちづくりイメージ（仮）

Screenshot of the Fukushima River National River Office website. The page title is '阿武隈川本宮左岸地区 まちづくり懇談会について'. It features a 'CONTENTS' sidebar, a '記者発表' (Press Release) section with dates for the 1st, 2nd, and 3rd meetings, and a main article titled 'まちづくりと一体となった治水計画の検討を行っています。阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会について'.

福島河川国道事務所ホームページ
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

「阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言」

1-2.事業全体の進め方

本宮左岸の築堤事業は、現時点で概ね7年程度の事業期間を目標としています。

治水対策と一体となったまちづくりへの提言

事業全体の進め方及び今後の予定に関する説明会

'08/7/2 地域懇話会
＜サンライズ本宮＞

提言を踏まえて各事業者が事業を実施

本宮左岸地区の設計
・堤防に関する部分
・まちづくりに関する部分
・親水施設に関する部分

用地調査・用地取得

工事

ゾーン別に行進

地域住民の参加
協働の取り組み

- ・地区懇談会
- ・地区毎の意見を聴く会
- ・まちづくり勉強会 等

事業の影響を受ける方との
具体的な調整

- ・用地に関する説明会・
協議・調整

確認

フォローアップ
委員会
(本懇談会)

助言

ニュースレターによる
情報の提供と共有化



治水対策と一体となったまちづくりの実現

事業全体の進め方イメージ

- 「阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくり」の実施にあたっては、地域住民や関係する機関の連携と役割分担をもとに十分な調整を図りながら事業を進めることはもとより、各実施段階における課題や状況の変化などに対応したきめ細やかな事業の実施が必要となります。
- そのために、事業進捗の各段階で、フォローアップを行うための委員会を開催し、各機関が連携した事業の実施を目指す必要があります。



本懇談会は

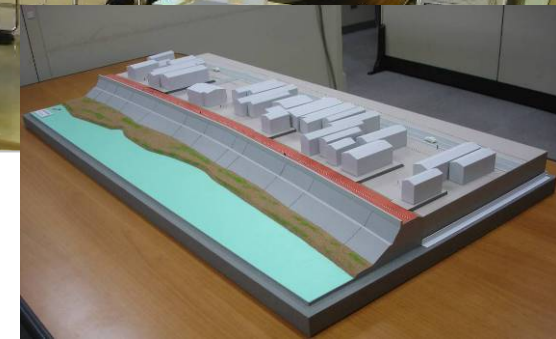
「阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくり」の提言の実現に向けて、現時点の事業実施状況の確認及び助言を行うことを目的とします。

1-4. これまでの経緯

【第5回懇談会(フォローアップ委員会)の概要】

- ・第5回懇談会は平成21年3月30日(月)に開催しました。
- ・本宮市役所会議室において、懇談会の趣旨・目的、事業の進め方及び当年度の経緯、A・C-2ゾーンの設計内容、B・C-1ゾーンのアンケート結果について提示し、意見交換を行いました。
- ・意見交換では、堤防道路の安全性確保することやパラペットのデザインについて統一性を図る必要があり、地元の意見を重視して進めていくことなどの意見が出されました。

第5回懇談会の様子



B～C-1ゾーンをイメージした模型を提示

1-4. これまでの経緯

【第6回懇談会(フォローアップ委員会)の概要】

- ・第6回懇談会は平成22年3月24日(水)に開催しました。
- ・本宮市役所会議室において、各ゾーンの進捗状況について報告し、提言書実現に向けた助言等を頂いています。
- ・意見交換では、面的整備が良いと考えられるが、各事業一体での整備進行が困難な中、地権者等の負担を減す整備方法を形作ることが必要などの意見が出されました。

第6回懇談会の様子



1-4. これまでの経緯

【地域への情報提供(ニュースレターの配布)】

- ・ 事業等の進捗状況や今後の予定についてお知らせするため、ニュースレター「本宮左岸まちづくりニュース」を定期的に発行するものとなりました。
- ・ 平成20年10月に第1号を配布し、現在第7号まで作成・配布しています。

第1号 2008/10/15発行



第3号 2009/2/10発行



第5号 2009/6/10発行



第6号 2010/4/28発行



第2号 2008/12/1発行



第4号 2009/3/25発行



第7号 2012/4/19発行



1-4. これまでの経緯

【まちづくりに対するアンケート調査】

- ・ 地域住民のまちづくりに対する意識を調査し、今後の検討の参考とするためBとC-1ゾーンを対象にアンケート調査（平成21年3月）を実施しました。

- 調査範囲
B、C-1ゾーンに居住する住民の方
- アンケート配布数
245票
- 配布期間
H21.3.2～3.9

◆アンケート結果からみた課題等

○まちづくりで重要な点

「住みやすい住環境の確保」「賑わいのある商店街の確保」を挙げる方が多く、特に、**現状の魅力で回答の比較的少なかった「賑わいのある商店街」をどのように確保するかが課題**です。

○まちづくりの進め方

「みんなが参加して自由に意見交換できる懇談会」「先進的にまちづくりに取り組んでいる方の話を聞くななどの勉強会」を求める方が多いため、**意見を踏まえた進め方が必要**です。

主な回答(現在の回答者83名)の集計結果

- 約4割の方が散策で阿武隈川沿いを利用されています。

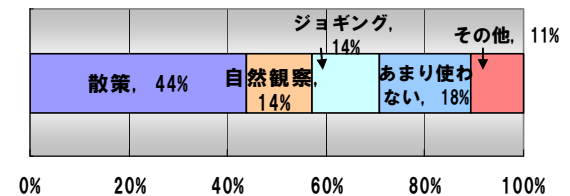


図-日頃の阿武隈川沿いの利用について

- 中心市街地の良さとしては景観が最も多くなっています。

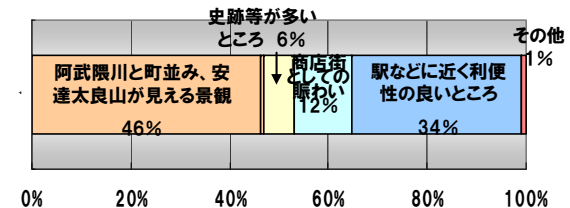


図-中心市街地の良いところ・魅力

- 住みやすい住環境や商店街の維持が求められています。

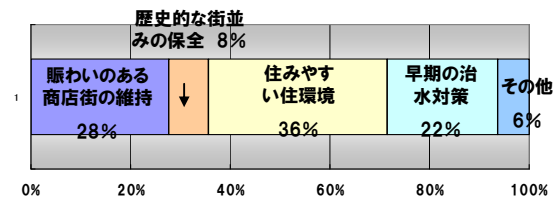


図-まちづくりで特に重要だと思うこと

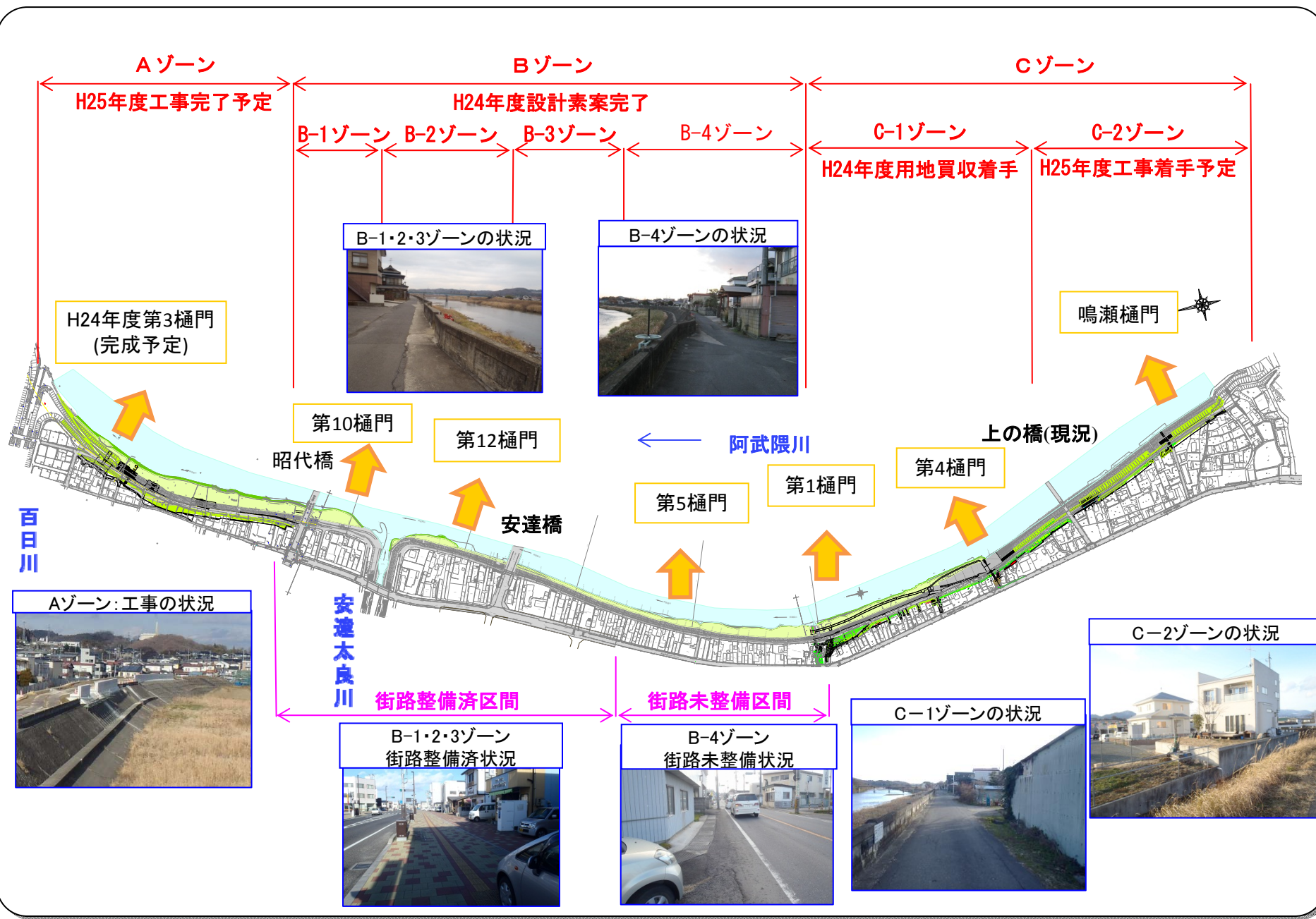
2. これまでの各事業の進捗状況と今後の予定

2-1. 各ゾーンの進捗状況について

2-2. Aゾーンの進捗状況について

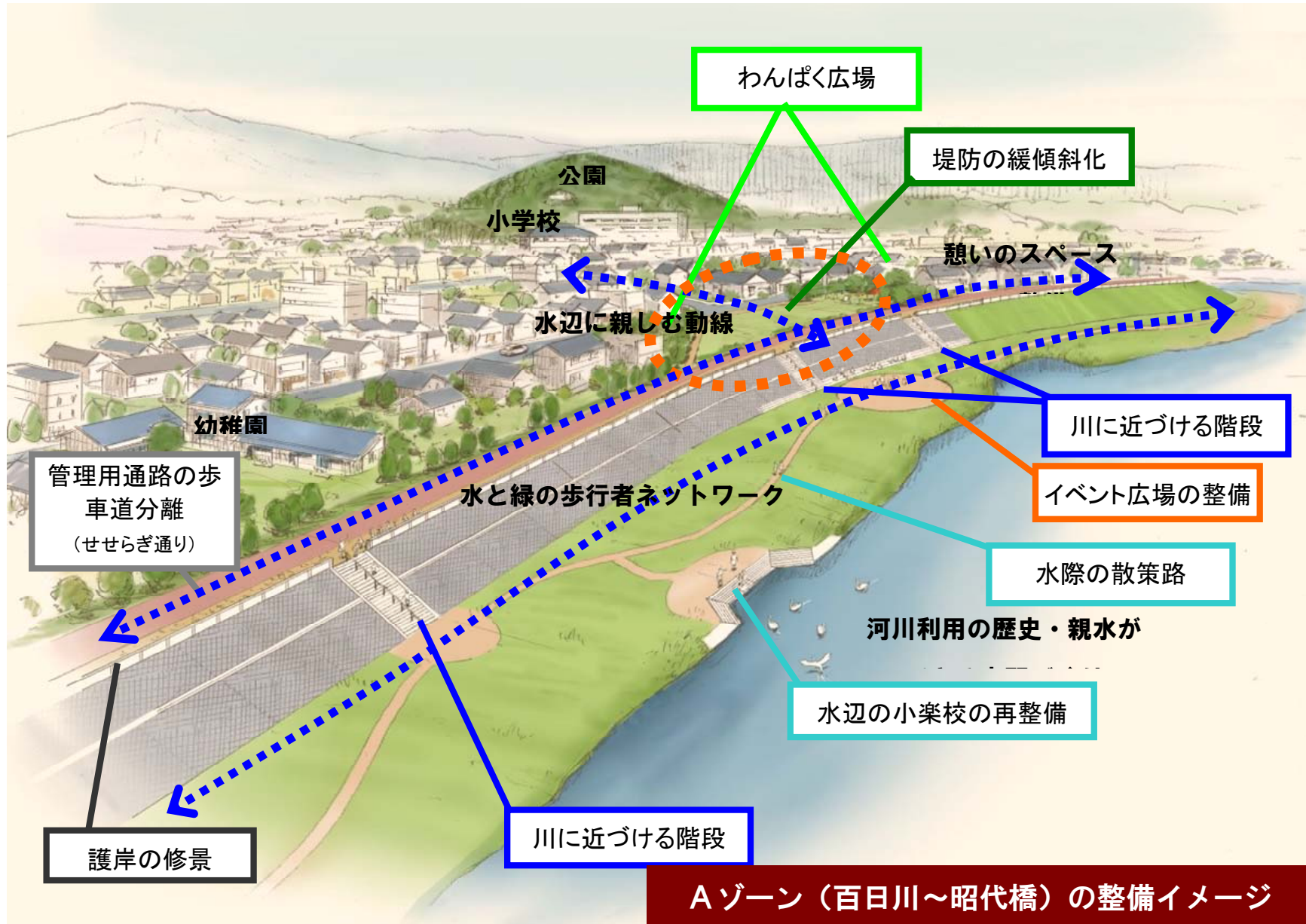
2-3. Cゾーンの進捗状況について

2-1. 各ゾーンの進捗状況について



2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーン提言書:まちづくりの構想】



2-2. Aゾーンの進捗状況について

【地区毎の意見を聴く会（Aゾーン）】

全地区共通意見

- ①左岸と右岸は同時に進めて欲しい。
- ②A～Cゾーンの堤防の外観も統一性もある程度考える必要がある。
- ③AやB・Cゾーンとの統一性・融合があって初めてまちづくりがスタートする。



Aゾーンの意見

- ①水辺の小楽校について、生物の生息状況や子供があまり利用しない現状を踏まえるとあまりこだわらなくて良い。逆に危険ではないか。
- ②堤防天端上の道路については、子供の通学路にもなっている。速度制限や柵等の歩行者への配慮が必要。
- ③堤防整備と合わせて回遊出来る水際の散策路等について石やコンクリートだけで固めないようにして欲しい。
- ④堤防を嵩上げした場合に、水の排除する形はどう考えているのか。



地区毎の意見を聴く会のようす
(H20.1 北町コミュニティセンター)

2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーンワークショップでの意見】

第1回ワークショップでの主な意見(H23.8)

- ①パラペットの横断は、乗り越しタイプでよい。手すりを設けること。
- ②パラペットの修景は、スリット模様でよい。
- ③散策路は舗装にして欲しい。
- ④水辺の小楽校の段差を半分くらいに出来ないか。
- ⑤階段下のベンチは、石かコンクリートにして欲しい。



第1回ワークショップのようす
(北町コミュニティセンター)

第2回ワークショップでの主な意見(H24.1)

- ①歩道は川側とし、川裏階段の前後にスピードバンプを設ける。
- ②歩道と車道の境界にはサインを設け、車道と歩道を色分けする。
- ③ポケットパーク予定地の坂路は、車椅子及び歩行者用の幅とする。
- ④堤防天端は、車両通行は可能とするが、通学時間を考慮し、時間規制を設けてはどうか。

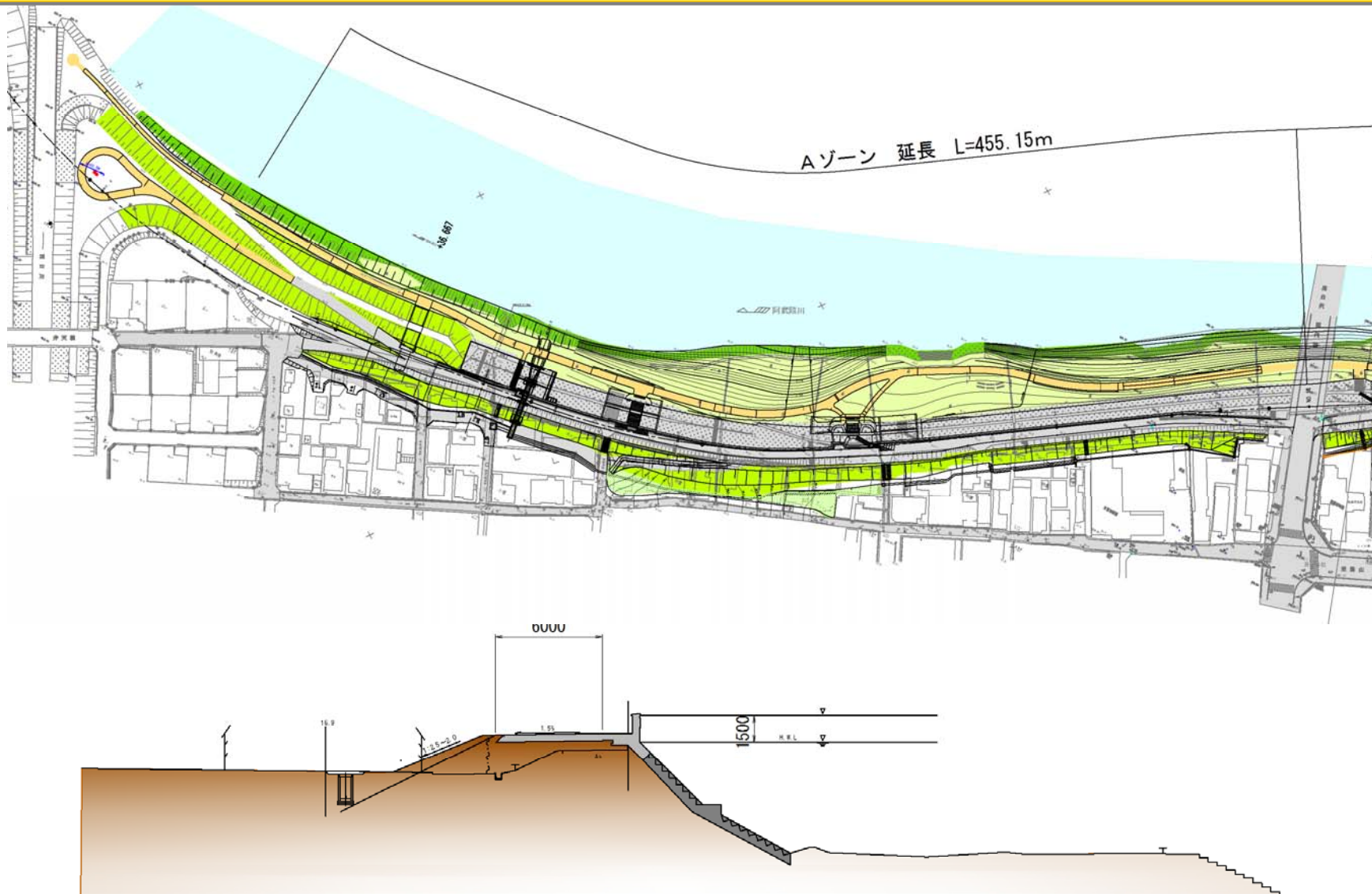


第2回ワークショップのようす
(北町コミュニティセンター)

2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーンの進捗状況】

- ・Aゾーンは、H25年度工事完了予定です。



2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーンの施工状況】



昭代橋から下流を望む



昭代橋から下流を望む

2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーンの施工状況】



パラペットの修景（川側）



パラペットの修景（宅地側）

2-2. Aゾーンの進捗状況について

【Aゾーンの施工状況】



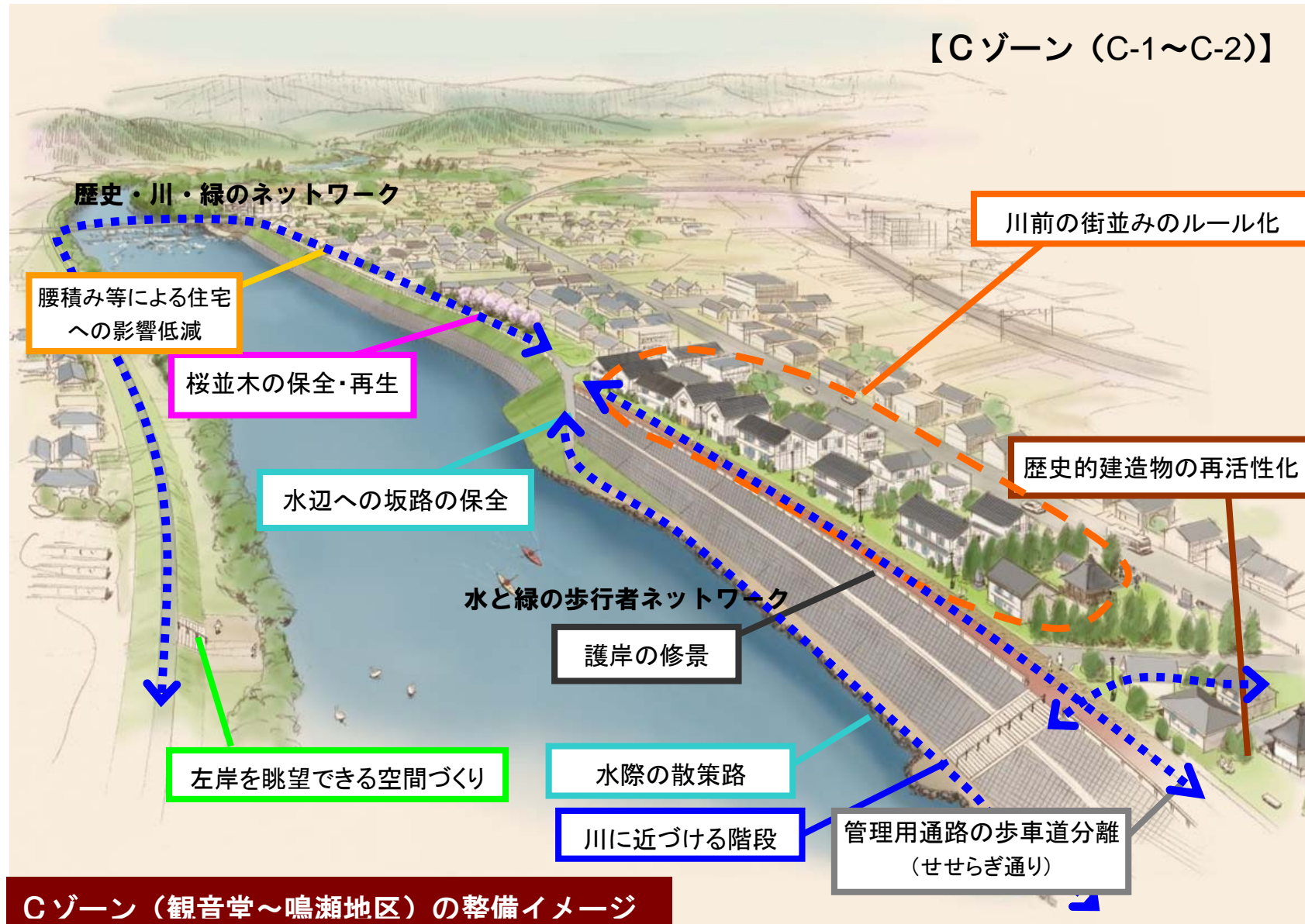
本宮第3樋門の工事状況（全体）



本宮第3樋門の工事状況（呑口：宅地側）

2-3. Cゾーンの進捗状況について

【Cゾーン提言書:まちづくりの構想】



2-3. Cゾーンの進捗状況について

【地区毎の意見を聴く会（Cゾーン）】

全地区共通意見

- ①左岸と右岸は同時に進めて欲しい。
- ②A～Cゾーンの堤防の外観も統一性もある程度考える必要がある。
- ②AやB・Cゾーンとの統一性・融合があって初めてまちづくりがスタートする。



Cゾーンの意見

- ①鳴瀬地区においては、上ノ橋の架け替えを考慮する必要がある。
- ②地盤を上げるのはよいが、全体的に凸凹になるのは良くない。街並みを揃えて欲しい。
- ③奥州街道が観音堂の裏から上ノ橋あたりまで残っており、整備において配慮して欲しい。
- ④堤防上の道路について、緊急車両は良いが、一般車が頻繁に出入り出来るようにはして欲しくない。

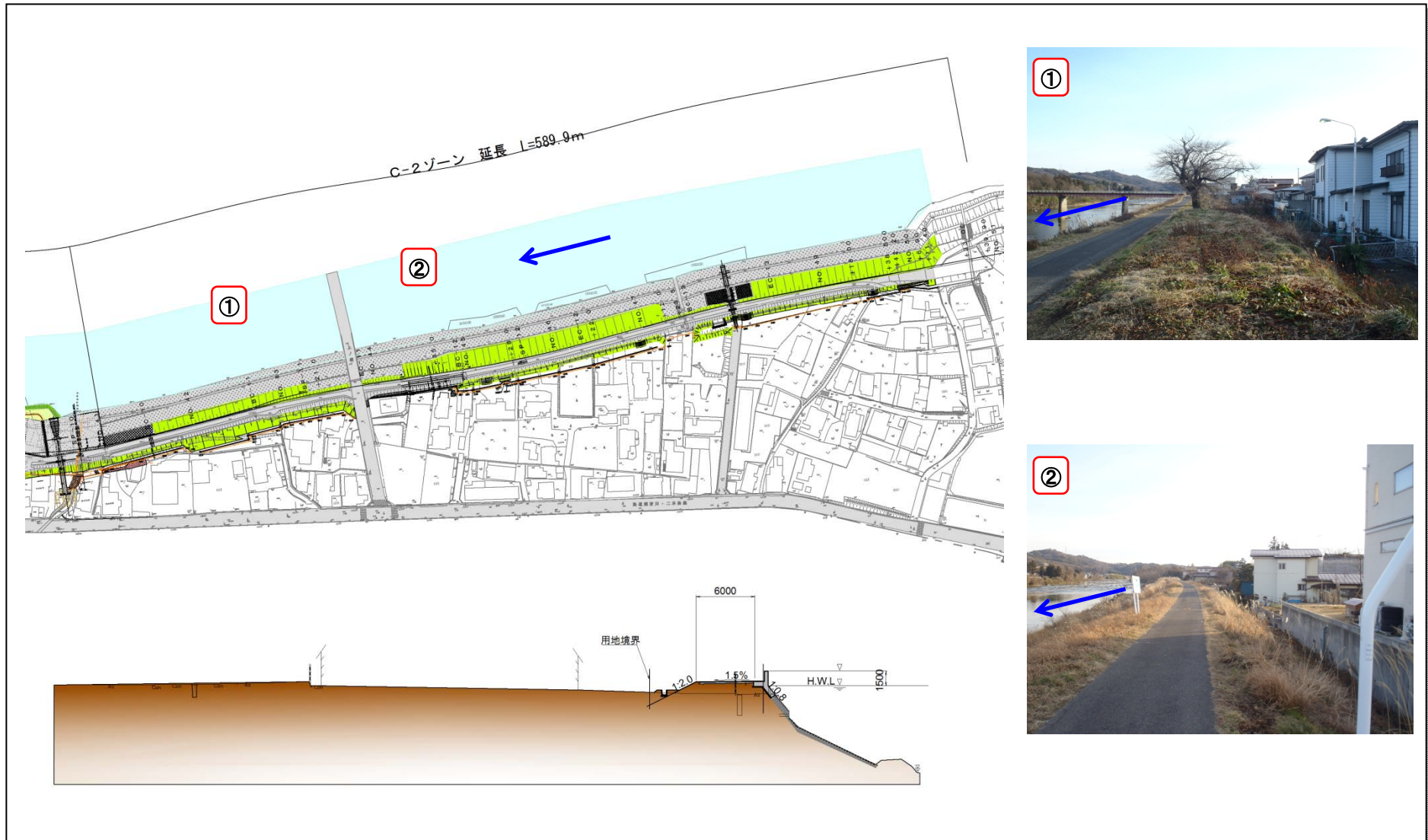


地区毎の意見を聴く会のようす
(H20.3 本宮商工会館)

2-3. Cゾーンの進捗状況について

【C-2ゾーンの進捗状況】

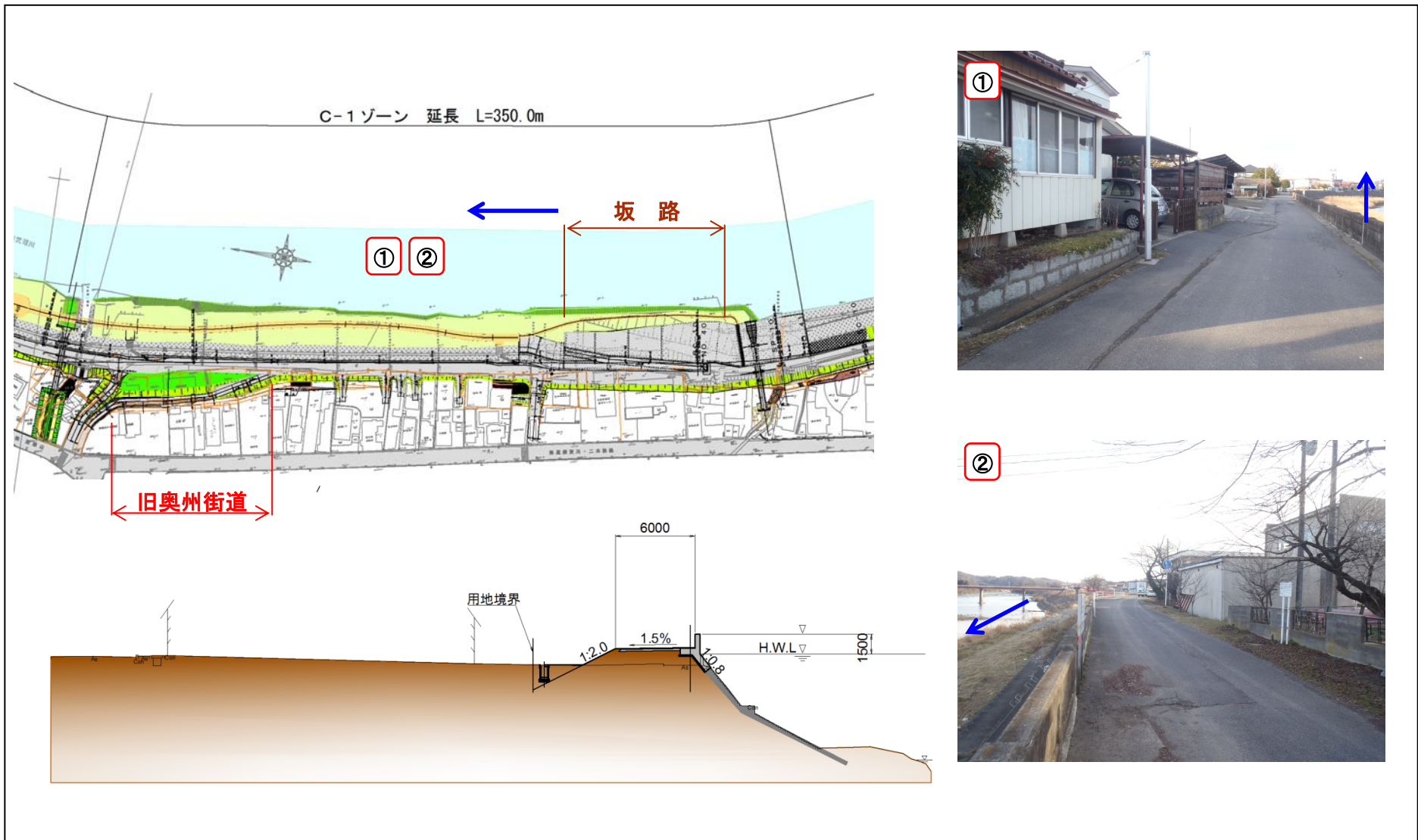
・C-2ゾーンは、H25年度から工事着手予定です。



2-3. Cゾーンの進捗状況について

【C-1ゾーンの進捗状況】

・C-1ゾーンは、H24年度から用地買収に着手しました。



3. Bゾーンの実施方針

3-1. Bゾーンの提言書の整備手法

3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

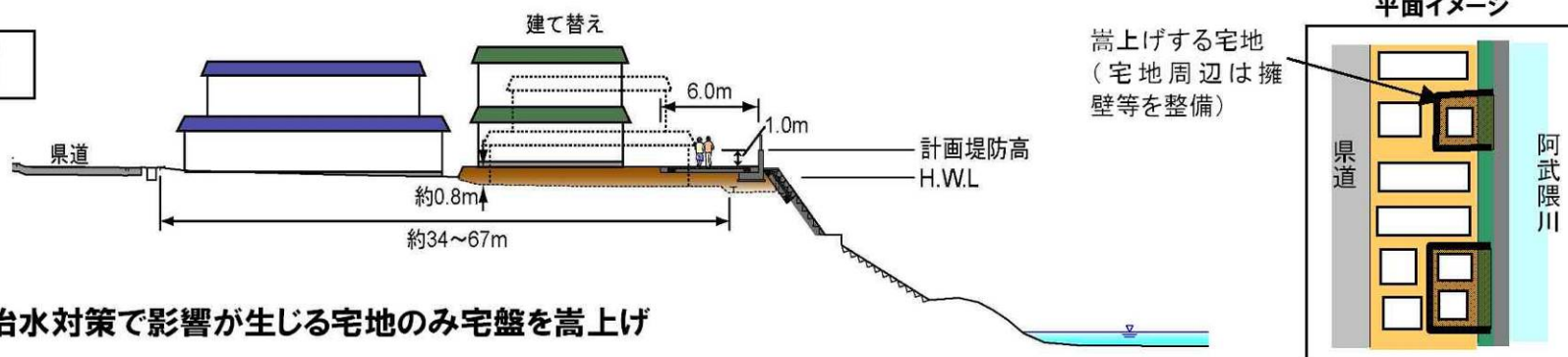
3-1. Bゾーンの提言書の整備手法

提言書に基づくBゾーンの「治水対策と一体となったまちづくり案」は以下の通りです。

『治水対策：堤防嵩上げ及びパラペットを整備 まちづくり：一部の宅地のみ宅盤嵩上げ』案

※治水対策により影響がでる一部の宅地のみ、宅盤を嵩上げし家屋が建替えられるようにする案

基本案

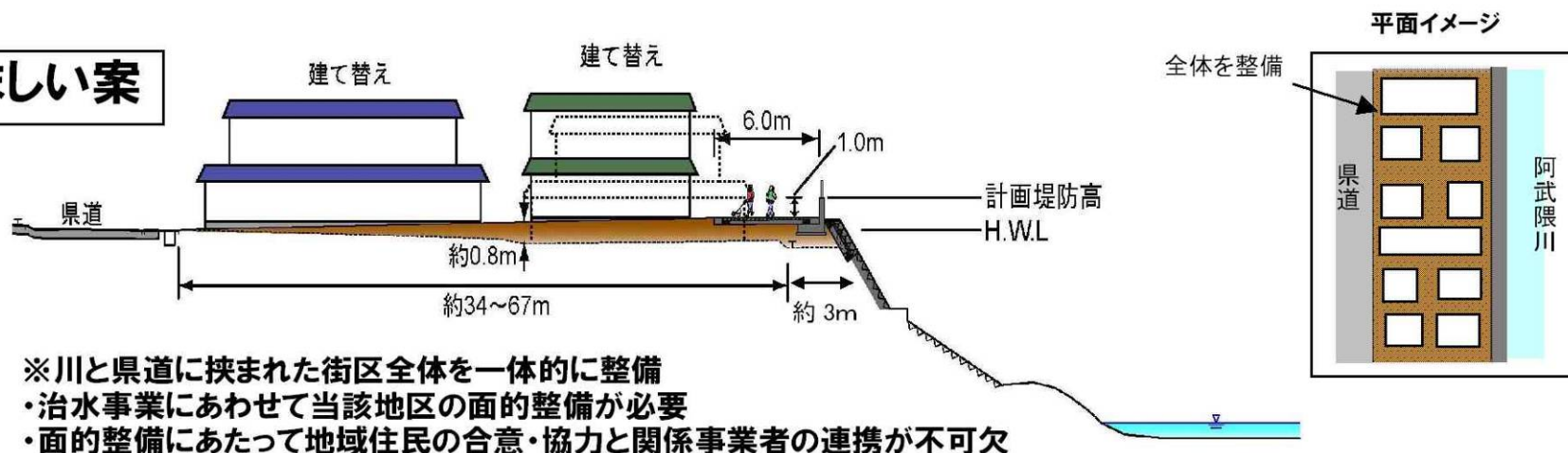


※治水対策で影響が生じる宅地のみ宅盤を嵩上げ

『治水対策：堤防嵩上げ及びパラペットを整備 まちづくり：県道付近まで宅盤を嵩上げ』案

※治水対策事業に合わせて川と県道に挟まれた街区全体を一体的に整備する案

望ましい案



※川と県道に挟まれた街区全体を一体的に整備

- ・治水事業にあわせて当該地区の面的整備が必要
- ・面的整備にあたって地域住民の合意・協力と関係事業者の連携が不可欠

3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

- ・Bゾーンは、設計説明会（住民意見の反映、現地視察などを行い、用地調査、買収、工事を進める予定です。

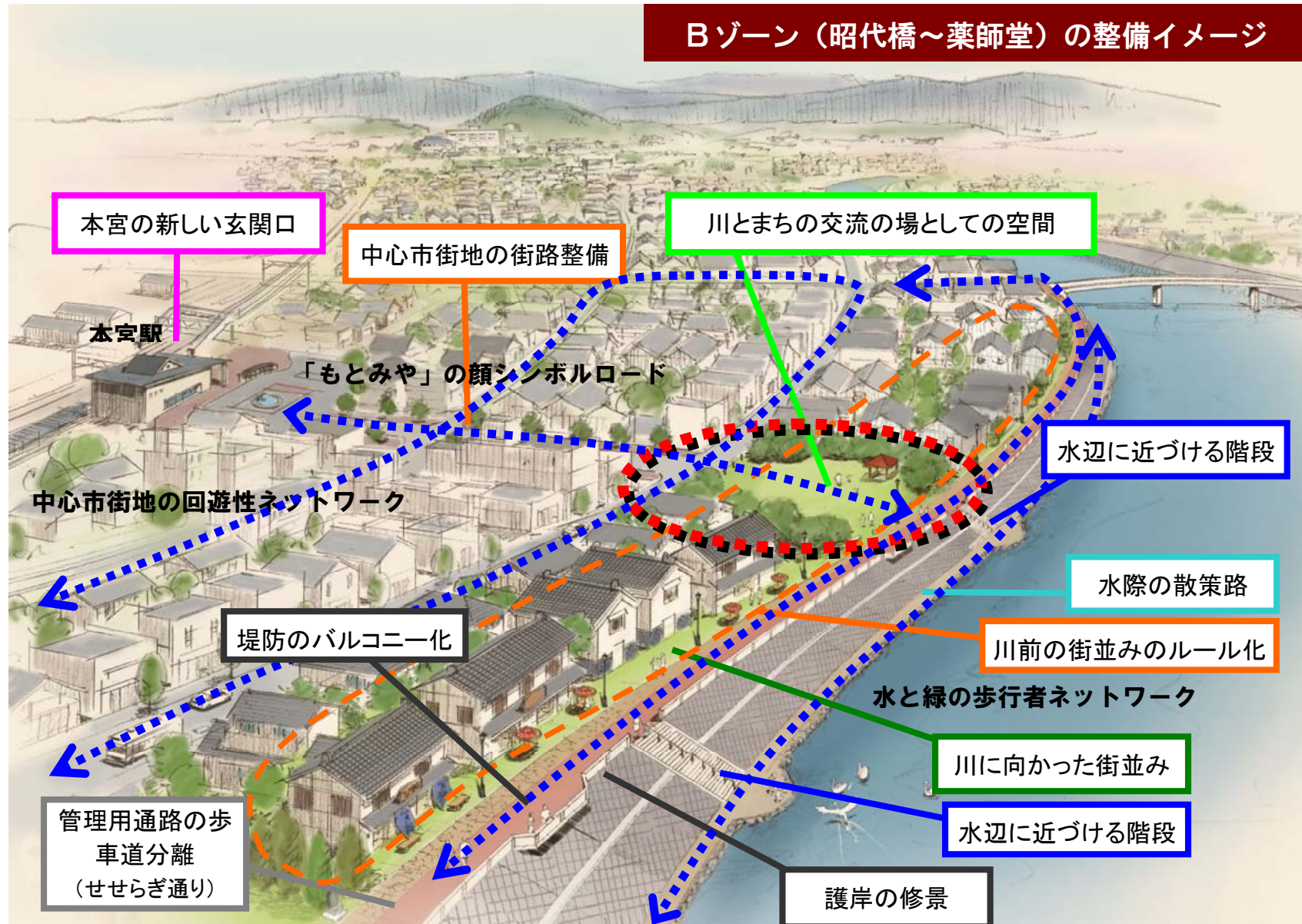
【Bゾーンの進捗状況】

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度以降
まちづくり	<div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; display: inline-block;"> まちづくりに関するアンケート '09/3/2～3/9 </div>					<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> まちづくり勉強会（仮称） </div>		
設計						<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 設計説明会 </div>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 用地調査 （B1・2・3） </div>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 用地調査 （B4） </div>

【まちづくり勉強会（仮称）】：関係者や地域の皆様と一緒に堤防計画を理解するかわまち歩きやまちづくりの勉強会等を開催

3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

【Bゾーン提言書:まちづくりの構想】



3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

【地区毎の意見を聴く会（Bゾーン）】

全地区共通意見

- ①左岸と右岸は同時に進めて欲しい。
- ②A～Cゾーンの堤防の外観も統一性もある程度考える必要がある。
- ②AやB・Cゾーンとの統一性・融合があつて初めてまちづくりがスタートする。



Bゾーンの意見

- ①県道との間が狭い所があり、県道側の商店も含めて連動が必要。
- ②市街地の整備も含めて考えざるを得ないが、県道は途中までで整備が止まっている。地域の合意があれば堤防と合わせて整備も進むのか。
- ③安達橋から見た安達太良山と川と一体となった街の景観に配慮して欲しい。



地区毎の意見を聴く会のようす
(H20.2 中央公民館軽運動場)

3-2. Bゾーンの進捗状況と今後の予定

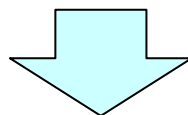
Bゾーンの整備方針

Aゾーンと同様に全区間統一する事項

- ①パラペットの修景は、川側格子柵、宅地側スリットとする。
- ②パラペットの横断は、階段による乗り越しタイプとする。
- ③堤防天端は、車道と歩道の境界にサインを設け色分けする。
- ④歩道は川側とし、車両の速度抑制のため、スピードバンプを設ける。

Bゾーンの個別事項

- ①安達橋と堤防の取付は、平面交差とする。
- ②河川敷には水辺の回遊性を考慮し、散策路を設ける。



地元住民を対象にまちづくり勉強会(ワークショップ)等を開催

4. 今後の進め方

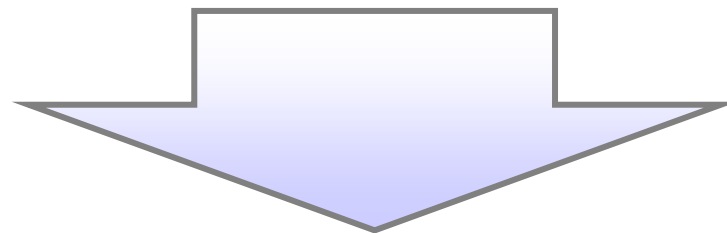
4-1. Bゾーンの今後の予定(案)について

4-1. Bゾーンの今後の予定(案)について

Bゾーンの設計内容については、以下のような流れで、地域の皆様との意見交換を行いながら進める予定です。

第7回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会

2月28日開催



懇談会の今後の予定

(現地視察[9月]・第8回懇談会[H26.2月])